

工事名		発注課所名					完成年月日													
工事場所		完成検査年月日					請負代金額													
受注者住所		工 期					から まで													
考 査 項 目		監督員職氏名					総括監督員職氏名					工事検査員職氏名								
		Ⓢ					Ⓢ					Ⓢ								
項 目	細 目	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e
1 施工体制	I 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10														
	II 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10														
2 施工状況	I 施工管理	+2.0	+1.0	0	-5.0	-10								+5		+2.5		0	-7.5	-15
	II 工程管理	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10	+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-7.5	-15							
	III 安全対策	+2.0	+1.0	0	-5.0	-10	+15	+12	+7.5	+4	0	-7.5	-15							
	IV 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5														
3 出来形及び出来ばえ	I 出来形	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5								+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20
	II 品質	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5								+15	+12	+7.5	+4.0	0	-15	-25
	III 出来ばえ													+5		+2.5		0	-5.0	
4 工事特性	I 施工条件等への対応 * 2	(+13)	0																	
5 創意工夫	I 創意工夫 * 3	(+7)	0																	
6 社会性等	I 地域への貢献等 * 4						+10	+7.5	+5.0	+2.5	0									
加減点合計(1+2+3+4+5+6)		± 0.00 点					± 0.00 点					± 0.00 点								
評定点(65±加減点合計)*1		① 65.00 点					② 65.00 点					③ 65.00 点								
7 評定点計		点 (① 65.00 点 × 0.4 + ②					65.00 点 × 0.2 + ③					65.00 点 × 0.4) = 65.00 点								
8 法令遵守等 * 7							FALSE 点													
9 評定点合計 * 8		65.00 点					7 評定点計 (65.00 点) -					8 法令遵守等 (FALSE 点) = 65.00 点								
所見 * 5		(監督員)					(総括監督員)					(工事検査員)								

* 1 1、2、3の評定(65±加減点合計)+4、5、6の評定(加減点合計)-8の評定(減点)=評定点。各評定点(①~③)は小数点第2位まで記入する。

* 2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。評価にあたっては総括監督員との協議をもって行うものとする。

* 3 創意工夫は、工事特性のような難度を伴わない工事において、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があった場合に評価する項目である。

* 4 社会性等の評価では地域への観点から、加減点評価のみとする。また、法令遵守等は、減点評価のみとする。

* 5 所見は必ず記載するものとする。

* 6 各考査項目ごとの採点は、監督員は別紙3~15、総括監督員は別紙16~20、検査員は別紙21~30によるものとし、検査員の評価に先立ち監督員・総括監督員が記入する。別紙10~13(担当監督員用)、別紙23~30(検査員用)は必要な部分のみを添付する。

* 7 法令遵守等の評価は、総括監督員が行う。

* 8 評定点合計は、四捨五入により整数とする。

* 9 施工プロセスチェックリストは考査項目ごとの採点の参考として特に必要な場合に、工期の長短、工事の内容等を考慮の上、適宜作成する。